

西千葉の魅力 かるたで

西千葉地区の魅力を「かるた」で再発見してもらおうと、JR西千葉駅（千葉市中央区春日2）周辺の商店街で地域通貨の普及に取り組んでいる「ピーナツクラブ西千葉」（木村保蔵代表）が、西千葉での思い出やエピソードを募集している。千葉大生らが、寄せられた思い出をもとに読み札や絵札を作製。完成したかるたを使ったかるた大会を来年1月から開催する。

同団体のメンバーは商店街店主や千葉

生が絵札を仕上げる。年内中には完成させる計画だ。

かるた大会は来年1月より、同団体が同駅北口広場で毎月行っている祭り「第三土曜市」などで開催する予定。また、かるたをポスターにして街のPRにも使用。喫茶店や自治会の掲示板にも飾るといふ。同団体の吉川亮事務局長は「かるたを通して世代間の交流が進んだり、新しい街の魅力を発見する機会を創出した」と話す。

思い出やエピソード募集

市民団体が作製 来年1月大会開催

大の学生ら。西千葉地区は、千葉大をはじめとした学園都市である一方、同駅北口は高齢者世帯が多く住む街。さまざまな世代の人たちが感じる魅力を、世代を超えて遊べる「かるた」で知ってもらい、西千葉地区をもっと利用してもらおうというのが狙いだ。

同団体が発足させた「西千葉かるた制作委員会」が集まった思い出を選考した後、コピーライター志望の学生らが44種類のキャッチコピーに変えて読み札にし、それをもとに同大デザイン学科の学

思い出やエピソードの募集は9月30日まで。過去の出来事だけでなく、日常の好きな場所なども歓迎。できるだけ詳細に書いてほしいという。応募方法は、西千葉の思い出のほか、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵便（千葉市稲毛区緑町1の18の1秋葉ビル3F プロシードジャパン宛）か、メール（nishichibakaruta@gmail.com）、ファクス（043・301・3391）まで。問い合わせは同委員会（☎043・301・3390）。

【荻野公一】